

視聴覚教育

NO 177

発行日
3. 11. 1発行
岡崎市AVL
編集

広報委員会

教師のことば

現職教育視聴覚部部长 都築 塾 雄

第四十一次教研集会・視聴覚部会では、十四レポートによる提案と討議がされ、視聴覚教育への先生方の関心や意欲の高さを感じました。

なぜ、視聴覚教材を準備したり、視聴覚機器の活用を図るのか。提案された先生方の研究のねらい等からわかります。そのいくつかを列挙しますと、

一 学習問題・課題について

- 興味や関心、解決意欲を高めるために。
- 子ども自らが発見するために。
- 焦点化するために。

二 学習指導の過程において

- 個別化、グループ化を図るために。
- 問題・課題解決の方法を見出すために。
- 物の見方、考え方の視野を広げるために。

三 基礎的な学習事項の習熟のために

等々であります。まとめると、子どもたちの活動を活性化し、楽しさの実感できる授業を指向しているのだと思います。教研テーマ「一人ひとりの可能性を伸ばし……」に視聴覚教育が大きな役割を担っているとも言えます。

視聴覚教育の充実を図る時に限ったことではありませんが、私が常々、心に留めていることがあります。

OHPが、小中学校に導入されるようになった頃、私も表出法だの、何法だのと、TP作りに凝ったことがありました。しかし、いざ授業となると、子どもたちは、OHPを操作する先生には「すごい」と評価をしてくれましたが、肝心の問題解決にも、知識の定着にも、大して役立たなかつたようでした。TPを作るに当っては、「どんなねらいで」「どのようなものを」「どこで提示するか」等をよく考え、出来ばえにも自信を持ち、授業に臨みました。にもかかわらず。

「OHPの効果的な活用」のレポートのため、教室にテープレコーダを持ち込み、授業の再現を始めました。機関銃のように、つきからつきと口から出る説明、提示したTPで問う事柄の複雑さ。ますます難解になる補助発問、子どもが戸惑ってしまう回答の受け方……。先生のことばが、TPの効用を半減させているのでした。

大村は名著「教室をいきいきと」から。

「教師は、みんな大学を出て教師になりますけれども、話すことについて本当に鍛えられていないようです。」このことばが痛いのは、私だけではないと思います。



自己教育力を高める授業の創造

視聴覚教材の効果的な活用を通して

新香山中学校

本校では校訓「創造」のもと、自己教育力を高める教育のありかたを求めている。

自己を高める意志を持ち自ら成長する生徒の育成を図るには、次のような授業を創造する必要があると考える。

- 自己の問題を粘り強く追究し続ける能力や技能を高め、ていく授業

- 人間的な温かみや変化に対応できるたくましさ、生きることへの真剣さを大切にすることを育成する授業

そこで、昨年度よりあらゆる教科・領域で、驚きと感動をもととした生徒主体の授業を創造するために、視聴覚教材の効果的な活用方法を研究している。たとえば、映像教材としてはNHK学校放送番組『ステップ&ジャンプ』『心のメッセージ』『みんな地球人』などの活用や、独自の自作ビデオ教材の活用を試みている。そして、各教科・領域で一人一人の教師が、どのような視聴覚教材をどのようなねらいで、どのような方法で（事前指導、利用形態、単元での位置付け、視聴中の指導、視聴記録、視聴環境、事後指導など）利用したらこうなったという実践を一つ一つ積み上げている。ハード面ではVTR、OHPなどの活用の工夫に加えて、教材提示装置、ビデオフロッピーレコーダーなど新しい機器も幅広く活用しようとしている。また、パソコンおよびパソコン室の活用法についても研究を進めている。

中学校放送コンテント全国大会の結果（八月二十二日）

〈テレビ番組部門〉

優 秀 「日本列島 全員集合」（常磐中学校）

中学校放送コンテント県大会の結果（七月十三日）

〈朗読部門〉

優 良 真砂 恭子（常磐中学校）

入 選 鮫島芙美恵（常磐中学校）

入 選 中根 麻美（常磐中学校）

〈ラジオ番組部門〉

優 秀 「ファミコン軍団の襲来」（常磐中学校）

〈テレビ番組部門〉

優 良 「日本列島 全員集合」（常磐中学校）

ライブラリーだより

☆16ミリ映画フィルム紹介（社会教育）

『おばあちゃんは何処へ』一般父兄向き 35分

共生の時代といわれる今日、三世代が共に暮し、共に生きていくために相手を理解する必要性を訴えます。

☆寄贈ビデオ紹介

『安心へのステップ91』

苦小牧・むつ・秋田・福井・菊

間・上五島・志布志の地上・地中・

洋上・地下の石油備蓄の様子を紹

介し、資源の重要性を訴え、日常

生活でのエネルギー消費のあり方

を問いかけます。

